

別墅と園

豪商又資産ある者は城内に商店住家を有し、更に城外に別荘を有す。園内は頗る廣く、楊柳果樹を植えて蔭影を作り、樹下に種々の草花を栽ゑ、園の中央には方池を穿ち、周圍に土堆の休憩所を設備し、之を公衆の娛樂場に充つ、恰も文明國の一小公園に彷彿たり。

羅布淖爾地方の家屋

羅布淖爾地方土人の如きは、總て蘆葦を以て家屋を作り、屋壁、柱、床及敷物等、皆蘆葦ならざるは無く、爲めに、風雨及光線を凌ぐ能はざること有り。斯の如きに因り自ら矮屋陋房のみ、更に高厦を見ず。稍、大家屋あるは往昔アラビヤ人の領地たりし時の建築に係りたるものにて、現今一の記念物として存在せり。

新疆一般の家屋

新疆の家屋は、概ね平屋にて、官衙、商店の外、二階以上の建築物稀なり。而して教會堂(メチエチ)學校(メデレセ)等の大なる家屋は、煉瓦を以て建築す。回部は到る處教會堂の設ありて、僅々七八戸の小部落も、必らず一教會堂なきは無し。大なる市街に在つては、二三の大教會堂と、七八十の小教會堂を有し、是等大小教會堂の多くは、煉瓦若くば、土瓦即ち粘土を堅めて日光にて乾燥したる儘のものを以て建築す。要するに木造の建物は、極めて稀なり。